



管絃



舞楽



多度雅楽会サイト URL : <http://www.tadogagaku.com/>

所在地：〒511-0101 三重県桑名市多度町柚井 1842 (電話 0594-48-3484)
〒135-0042 東京都江東区木場 3- 3-12-401 (電話 03-3630-0038)

代表者：館主 田中 松緑 (朝日カルチャーセンター・毎日文化センター講師)

活動内容：日本の伝統オーケストラ「管絃」と豪華絢爛な「舞楽」の普及継承事業
庭園や自然を活かした舞台芸術としての美を追求する演奏会の運営事業

定期公演：桑名 六華苑 舞楽会 (春季及び秋季)、楽翁顕彰演奏会 (東京)

活動拠点：三重県桑名市 (多度雅楽庵)、東京都江東区 (東京奏楽所)

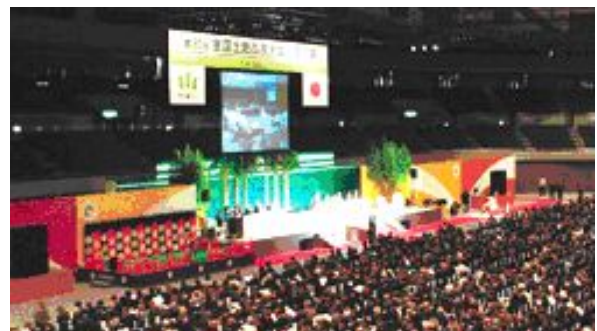
活動実績：2000年10月設立、桑名市文化協会 会員、2004年「東京奏楽所」活動開始
文化庁、地元自治体、企業メセナ協議会及び財団等から助成・支援を受ける
県政策推進事業「美し国おこし・三重」パートナー・グループ (2009-2014)

演奏実績：地域行事、社寺の祭典法要など多数 (出張演奏実績：関東・中部・関西全域)
愛知万博出演、記念式典、婚式、パーティー、桑名御台所祭 (桑名市城下筋)
チューリップ祭 (国営木曾三川公園)、みえ県民芸術文化祭 (三重県文化会館)、

愛知万博等イベント



全国大会式典演奏



< 定期演奏会 > 桑名 六華苑 舞楽会 (春秋)



桑名地方の雅楽の歴史は古く、「多度神宮寺伽藍縁起並資材帳（奈良時代／重要文化財）」には「楽具」（楽器と装束）と記述され、少なくとも天平時代に遡ります。江戸時代には、雅楽愛好者の松平定信（雅号：楽翁）を祖とする桑名藩主が代々好み、藩校の必須科目として盛んに上演されました。桑名城跡には舞楽面など多数の宝物が現存します。

歴史ある桑名六華苑の美しい国名勝庭園における舞楽会を、毎年春秋開催しています。演奏法も、古式のほか、「安摩、二の舞」や「青海波（管絃舞楽）」などの名曲の復興にも努めています。特に、童舞（わらべまい）は公募した親子で参加するなど、世代を超えて地域の文化愛好者により親しまれています。

「文化芸術による創造のまち」文化庁支援事業指定・三重県主催事業（平成19-20年度）
（社）企業メセナ協議会の助成認定事業、桑名文化・スポーツ振興公社の共催事業（例年）
日本芸術文化振興基金助成事業指定（平成21年度）



青海波（平舞）



貴徳（武舞）



迦陵頻（童舞）



納曾利（走舞）

< 御協賛の御願い >

大太鼓と大鉦鼓による庭園舞楽会は、日輪と月輪の金銀が煌く格式ある舞台芸術です。民間では全国でも数少なく、今後も継承できますよう、皆様に御協賛をお願いしています。

文化庁が推進している（社）企業メセナ協議会の認定事業であり、法人の場合、一般寄付金とは別枠で損金算入の対象、個人の場合、課税所得から控除対象になります。経済情勢の厳しいことは十分承知しておりますが、寛大なる寄付をよろしくお願い申し上げます。